

## § ワークショップについて（テーマ）

### テーマ1

以下の①または②のいずれかについて具体的な提案をお願いします。

#### ①「社会教育の担い手」を拡大するには？（答申【施策3】）

社会教育・生涯学習を通じて、多様な担い手との連携・協働を深めることにより、これまでになかった新たなアイデアや価値が生み出され、新しい地域づくりにつながると思われます。社会教育の担い手の発掘・拡大するための提案をお願いします。

#### ②「青年層へ社会教育をアプローチ」するには？（答申【施策4】）

次世代を担う子ども・若者が、社会教育による学びを通じて、地域の課題やその解決方法を様々な世代の住民と共に実践的に学ぶことは、持続可能な地域運営につながると思われます。そうした青年層（おおむね 15 歳から 39 歳まで）の意識の醸成と自発的行動につながる提案をお願いします。

### テーマ2

**グループのメンバーがそれぞれの立場で、連携・協働して出来る「社会教育・生涯学習推進事業」をお考えください。**

## § ワークショップの進め方（参考）

1. あいさつと自己紹介をお願いします
2. グループのリーダーと発表者を決めます
3. テーマにそってワークショップを進めます

#### ▼ワークショップの進め方（例）

- (1) グループ内の全員が発言できるようにします。発言が長時間にならないよう、話は簡潔にまとめ、他の人の意見も十分に聞けるようにして、限られた時間を大切にしてください。
- (2) ふせん紙（ポストイット）に記載されたことが記録に残ります。発言したいことは必ず、ふせん紙に記入してください。
- (3) 1枚のカードに1つの意見を記入してください。
- (4) ふせん紙が模造紙に貼られ、ある程度意見が出揃ったら、マーカーで整理をします。

#### ▼ワークショップの心得

- ・話は短めに！（話しすぎに注意しまししょう）
- ・違っていても当たり前！（否定しないこと）
- ・話をつなげる！（話を楽しみまししょう）
- ・みんなできな合おう！（ともに教える）